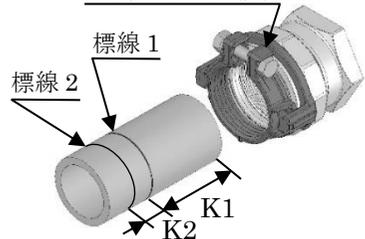


# SKX® 施工手順 (VD・PD 鋼管用)

## ①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。**分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで**挿し込んで下さい。



注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。  
 ・滑剤の塗布は不要です。  
 ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

## ②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め(素手もしくはスベリ止め付グローブで締まらなくなるまで)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

注2) ・十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。  
 ・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。  
 ・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい。

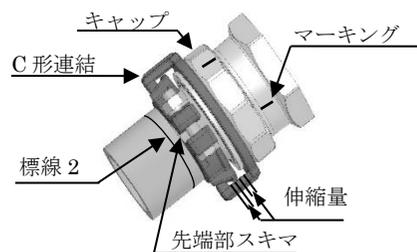
## ③キャップ本締め

ショートレンチにて**キャップを標準締付回転数(標準締付トルク)**で締め付けて下さい。



## ④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。**ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリングを標準締付トルクにて締め付けて下さい。**



注3) 当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。  
 注4) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。  
 注5) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤**施工完了・施工手順チェックシートへの記入**  
**ストップリング端面が 2 本の標線の間**にあることを確認してください。  
 キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

### 《管の取り外し》

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩める**だけで管と分離可能です。(分解不要)

### 《ねじ切り管を接合する場合の注意》

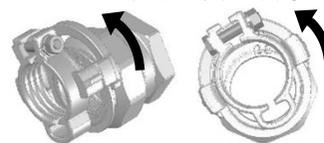
・片側をSKXで接合し、もう一方側を、ネジきり接合の為に外面被覆を剥いて**接合している**場合、パイプメーカーによっては、鋼管と被覆の間にて極微量の漏水を起こす恐れがあります。

安全のため、**管端面ならびに外面被覆と管表面の境界全周をデブコン SF(輸入・販売元:株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズジャパン、商品番号:DV10240)で補修**してご使用下さい。(パイプの状態についてはお問い合わせください。)

## SKXストップリング (SR) 交換手順

### ①C形連結取り外し

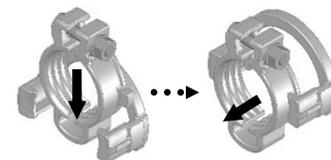
C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



### ③ストップリング交換

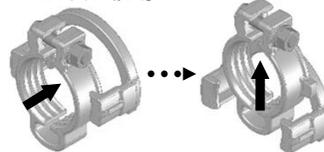
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



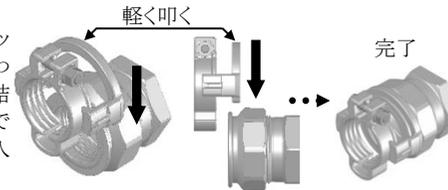
### ②ストップリング取り外し

SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



### ④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



管呼び径	SR呼び径(赤)	本体呼び径	K (mm)		十分な手締め後回転数	キャップ (参考締付トルク N・m)	ストップリング 標準締付トルク (参考締付トルク) (N・m)		六角対辺
			K1	K2			当て締め	(10)	
15	D15	20	55	5	1/2~3/4	(15)	(10)	10	
20	D20	25				(20)			
25	D25	V30	60	5		(30)	15~20	13	
32	D32	D32				(40)			
40	D40	D40				(40)			
50	D50	D50	75	5	5/10~8/10	(40)	25~35	17	

※太字：下限値

(株)川西水道機器

TEL 087-805-0001 (施工コールセンター)  
 FAX 087-877-2801